

会 議 録

令和7年度第5回グループホームこぶなと運営推進会議

1 開催日時 令和8年1月14日(水) 14時00分～15時00分

2 開催場所 グループホームこぶなと(ホール)

3 出席者

(1) 運営推進委員 参加者4名

民生児童委員

花巻中央包括支援センター

花巻市役所長寿福祉課

(2) 施設関係者 参加者3名

管理者 高橋典子

介護職員 小原幸生

事務局 佐々木尚之

(3) 欠席

家族代表

民生児童委員

ともにあゆむ会法人代表 佐々木敬尚推進委員

ともにあゆむ会事務長 高橋淳史推進委員

4 会議の概要

会議の概要

○(事務局 佐々木)

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

昨年はお忙しい中、運営推進会議にご協力いただきましてありがとうございます。

本年も引き続き地域貢献に伴い、サービスや質の向上に努めて参ります。

運営推進会議の場を活用し情報交換しながら、事業所や法人をPRして行きたいと

思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

会 議 録

○グループホームこぶなと運営状況について（別紙・資料参照）

管理者高橋より資料に沿って報告

○意見交換

（花巻市役所様）

事故報告について最後の方は自然治癒を目指しての治療となるのですか？

（管理者 高橋）

1/5の受診時に痛み止めを1週間分処方されましたが、ドクターより「痛みがれば終了です。コルセットは3か月装着して下さい。」と指示を受けました。

（介護職員 小原）

現在は良い方に向かっています。もう痛みの訴えは無く職員の介助のもと歩行しています。コルセット装着についても「何で付けているのか」と違和感があるようです。

（中央包括支援センター様）

事故報告について事例2・3は同じ方ですか

（管理者 高橋）

はい、同じ方です。センサーを付けたり、居室を変更する等の対策はしています。去年離設した経緯があった為、受診した際に薬が増えております。その為か、歩行状態もゆっくりとなり、バランスを取って歩行するのが難しくなってきたように感じます。次回の受診時に、処方薬の相談をする予定です。

（中央包括支援センター様）

薬のセットはダブルチェックのような事はしているのですか？

（管理者 高橋）

はい、トリプルチェックしています。

（花巻市役所様）

今回はすり抜けてしまったのですね。

（事務局 佐々木）

外部評価について説明します。

（資料に沿って読み上げる）

（管理者 高橋）

実際評価して改めて、自分たちがどういうふうなケアをしているのかというのを客観的に見る事が出来ました。利用者様によって、テレビの持ち込みを希望したり、仏壇を持ち込みたいという希望等があり、ご家族様を含めて希望が違うので、その方に合ったケアをしているかを改めて考えながら自己評価シートに記入しています。

会 議 録

(事務局 佐々木)

外部評価は一人の意見だけではなくて、最終的にまとめたものを全員で確認し、評価の間違いないか会議を行い確認します。毎年繰り返し行いますので、評価制度を職員全体が理解できていない部分もあるので、そういった部分も含めて毎年確認の為に勉強会をしながら、何のために行う等の目的を理解しながら進めていく事が大事だと感じます。

昨年から管理者も変わって、スムーズにいかない部分もあるので、今後は一緒にやりながら進めていきたいと考えております。管理者は現場にも入るので、現場を見ながら、事務作業をしながらと言う部分で、少し落ち着かない状況ではありますが、状況を見ながら一緒にやって行こうと考えております。

(小原)

各評価にいろいろな項目が細分化されていて、ベテランの職員であっても若い職員であっても、どのように評価してよいかわからない事もあるが、評価表によって現在の施設の位置付けがわかる。施設で働いていて、利用者の信頼関係だけではなく、地域の人たちと施設が連携して関わりあっているか？など細かいことに関して職員全員で評価表を細分化して自己評価を行い新たに気付かされる点が多く感じる。職員全員で振り返るととても良い評価表だと思います。施設の職員の中で、お互いに意見を言って刺激し合いながら、よりよいものを作っていくためには細かい評価があれば大事な指標になる。介護職員でもいろんな人がいる中で、方向性を見出して、みんな一つの方向を向いていくためには、評価表のもと評価しながら、前に進んで行くことがすごく大事で、目標やビジョンが評価表をやることによって見えてくる。

(管理者 高橋)

今回推進委員さんから、災害に関して地域との関わり方等の意見が出ました。

川が近く、洪水の心配があるので。改めて地域の防災訓練等に参加したりする事も大切だと感じました。

(民生委員様)

地域の方では自主防災組織があるので、駿河さんだと色々わかるかも知れません。

私は詳しくないので内容までわかりませんが、なかなか今難しいですね、情報は職員が変わっていたら改めて確認するなどした方が良いですね。

前の会議で、「洪水になったときの避難場所は花巻小学校ですが（コミセンではなく）

でも行く時にはロピア近くの橋の所を通らなくてはいけないし、鳥谷崎公園は水が浸かると言う話はしていたので。三菱自工の所の方が少し高いよね」という話はしていたのですが、それぐらいは今お伝えできますけど。

でも実際ポンプ場が出来てから洪水の心配がなくなったのでなくなったので、

ただ、今までに経験したことのないような大雨が降るといっても今後はありますよね。

この前に会議をした時は避難場所では無く、姉妹施設に車で行く等話が出ましたね。

イメージすることが大事なのかな？と私は思って聞いていました。

会 議 録

(事務局 佐々木)

避難所へ行くのも良いのですが、トイレの問題とか、認知症の方なので、他の方との関係性もあります。その為に避難所はなくて、例えば大迫や東和にある同法人の施設に一時避難して、過ごすという事も避難確保の一つであると言う話をしています。そのような時には、大迫や東和の職員に来てもらって利用者様を避難誘導するという話もしています。

いざという時は互いに事業所間で協力していこうと言う話をしています。

(民生委員様)

大迫に行くまでが大変なんじゃないですか？

(副理事 佐々木)

どのルートを行けば良いかという話もしています。

(民生委員様)

色々イメージして考える事をした方が良いですね。

私も地域のお年寄りを沢山回って歩く時もあるのですが、やっぱりそこはイメージします。このお家の方は一人で行けないだろうとか、自主防災の人が声をかけるのかな等。市の方では何をやるのかなど考えますけれども、先程話されていた通り、自己評価というのは自分たちの仕事以外にイメージを広げる意味でも、防災の事にもっと目を向けて考えた方が良いです。利用者様のお世話だけではなく、そこまで考えて動かなきゃいけないと言うところを知る上でも、職員のレベルアップのために大事だと言うことだと思います。

(副理事佐々木)

ありがとうございます。

(砂川 秀輝推進委員)

大迫や東和の施設なども具体的な話とかされていますか？

(事務局 佐々木)

はい、しています。

いざと言う時は施設のホールを一時避難スペースとして活用する事を話しています。

(花巻市役所様)

凄く良いなと思いました。

(事務局 佐々木)

ありがとうございます。東和にある施設はホールにテーブルが3台~4台ぐらい並んでいて、片付ければスペースが確保できるので、そこを一時避難スペースとして確保できますし、大迫にある施設は3ユニットあり(1階に2ユニットと2階に1ユニット)ホールも使いながら、などと思ったりしていて、いざという時はお互いに協力しようという形で話しております。

BCP(事業継続計画)の中でそのシミュレーションとして話し合ったこともありますが、実際にこういう場合はっていう具体的な部分までは詰めてはおりません。

会 議 録

いざと言う時は、協力しようという話は会議の場ではしております。

協力の意思疎通ができていると、例えばコロナとかインフルエンザとかになった場合、職員が勤務できないと言うケースもありますので、そういう時は協力体制を構築しています。

(管理者 高橋)

災害に対しては、いつの時点で非難するか判断が難しいです。

利用者代表 K様)

私もここにきて暮らしてみても素晴らしいところです。皆さん良い人ばかりですし、安心してゆっくりと過ごして私は大好きです。皆さんそういう評判を帰っても話して下さい。職員も一人一人に接しているのだな、という感じはずっと思っていました。

(事務局 佐々木)

ありがとうございました。

以上を持ちまして、令和7年度第5回運営推進会議を閉会といたします。

ありがとうございました。